

第2講「フィクションと現代社会」

1. 前回の復習
2. 前回宿題について
3. メディアとは
4. メディア研究の視点
5. 次回までの宿題

【前回の復習】

- 社会学の歴史
- 「文化」(culture) とは
- 複雑化した現代社会と文化

【培養理論】

Cultivation theory

テレビ〔特にフィクション〕に
長期，反復的に接触することで
……現実認識が培養される

教科書 p. 247

サンーシモンは、『ベルサイユ
のばら』のオスカルやアンドレ
のような状況におかれた。

教科書 p. 3

私の周囲には、ベルばらを読んだからフランス語専攻、って人が多々いたけれど、日本中の女性たちのフランス知識って、かなりベルばらのおかげだよねえ。

松尾慈子 (2006-03-06) 「ベルばらの娘たち: ベルばらファンは誰だ」『ベルばら kids プラザ』 http://bbkids.cocolog-nifty.com/bbkids/2006/03/post_95ba.html

【メディアとは何か?】

S

M

L

Media = 中間にあるもの

→ コミュニケーションの媒介

対面ではなく，情報を媒介する
ためには，「情報の表象」と
「表象を具体化する道具・装
置・技術」が必要

教科書 p. 235

【メディアの具体例】

筆記具、記録媒体、
ラジオ、テレビ、絵画、立看板、
狼煙など

教科書 p. 235

【マスメディア】

不特定多数の人に同じ情報を伝えるコミュニケーション = Mass-communication

このときに使われるメディアが mass-media
新聞・雑誌・ラジオ・テレビなど。

※「マス」を省略して単に「メディア」と呼ぶ
ことも多い

【メディア関連技術の発展】

●活版印刷：15C 以前

●電信：19C 前半

●写真：19C 中期

●電話：19C 後半

●録音：19C 後半

●映画：20C 初頭

●ラジオ：20C 前半

●トーキー：20C 前半

●テレビ：20C 中期

【プロパガンダ】

propaganda

人びとの態度や行動を，情報発信者の意図する方向へと影響を与えようとする説得的コミュニケーション

教科書 p. 246

【ラスウェルの 5 段階モデル】

Harold Lasswell (1902-1978)

- 発信者 → 統制研究
- コンテンツ → 内容研究
- チャンネル → メディア分析
- 受信者 → オーディエンス分析
- 効果 → 効果分析

教科書 p. 247

【限定効果】

プロパガンダには、当初考えられていたほど強力な効果はない

→メディア・リテラシー問題

しかし、状況によっては相当の効果を持つ

- ・ 議題設定機能
- ・ 長期的効果（培養理論）
- ・ 人的ネットワークの影響 (2-step flow)

教科書 p. 247-248

【宿題の回答から】

- 「入門」としてのフィクション
- 知名度向上効果 (→議題設定)
- ミーム (meme) →増殖する文化単位
- 主人公視点 (→オリエンタリズム)
- 恋愛中心主義

【複製される情報とその変異】

- 会議は踊る
- 敵は本能寺
- 泣いて馬謖を斬る
- トロイの木馬

【次回までの宿題】

課題 3: 学術書の構造

教科書の本文は 1 ページから 272 ページまでであるが、その前にも後にもページが続いている。これらのページはどのような部分からなるか、またそれぞれどのような機能を持っているか解説せよ。(カバー、表紙、裏表紙は対象にしなくてよい。)